

感謝状「職場体験・インターンシップ等」部門
細則 2（5）異なる校種の学校の取組への支援について

○「上記の（１）～（４）の基準を組み合わせることで当該年度を含む連続して５年以上にわたって、取組がある事業所。」

＜基準を満たす場合（例）＞

年度	推薦及び申請基準	取組内容
平成〇〇年度	（３）①	〇〇高校インターンシップ５日
平成〇〇年度	（３）②	〇〇高校インターンシップ３日＋キャリア教育への協力
令和〇〇年度	（２）②	〇〇中学校職場体験３日＋キャリア教育への協力
令和〇〇年度	（１）①	〇〇小学校職場見学２校
令和〇〇年度	（４）	〇〇特別支援学校職場実習１４日間

※特別支援学校の取組年度は、就労体験の有無で判断する（採用実績を問わない）

○「同じ年度に異なる校種の職場体験等を受入れた場合の受入日数は、延べ５日以上を推薦及び申請基準とする。」

＜組み合わせ例＞

組み合わせ	取組内容	贈呈に該当するかどうか
体験日数４日以下	〇〇小学校職場見学１日 〇〇中学校職場体験３日	該当しない
	〇〇中学校職場体験１日 〇〇高校インターンシップ３日	
	〇〇小学校職場見学１日 〇〇高校インターンシップ３日	
体験日数５日以上	〇〇中学校職場体験２日 〇〇高校インターンシップ３日	該当する
	〇〇小学校職場見学１日 〇〇高校インターンシップ４日	

※ 特別支援学校の職場実習は、通常１～３週間程度実施されるため、単一年度で他の校種と組み合わせることはほとんどないと想定される。